

平成21年度武蔵野市財政援助出資団体経営目標評価シート

団体名		社会福祉法人 武蔵野市民社会福祉協議会						
①	指標名	地域社協の育成に関する研修回数			目標値	市民社協職員 2回 地域社協運営委員 3回	実績値	市民社協職員 1回(1名) 地域社協運営委員4回(169名)
	過去の実績	平成18年度	平成19年度	平成20年度	達成率	100.0%	達成状況	未実施・未達成・達成
	(単位:)	地域1	職員3・地域1	職員3・地域1				
	取組内容	※21年度中の目標達成のための具体的な取組内容等について記入してください。 (市民社協職員対象研修) ・東京都社会福祉協議会主催「地域包括支援センター・在宅介護支援センターと社会福祉協議会の連携の在り方研修会」に参加した。 (地域社協運営委員を対象の研修) ・役員及び運営委員を対象として「会計研修」及び「魅力的な広報誌の写真の使い方」「障がい者を理解するための研修会」に参加した。また、地域福祉ファシリテーター養成講座に参加した。						
一次評価	※目標の達成状況・要因・今後の取組方針等について記入してください。 ・目標では、各研修に職員を2名ずつ参加させる予定であったが、1回1名の参加となってしまった。今後は、職員研修計画に基づき積極的な参加が図れるよう環境づくりに努め、地域社協活動の支援を図っていく。 ・地域社協運営委員を対象とした研修は、地域社協有志による研修実行委員会を立ち上げ、意見を聞きながら充実していく。							
二次評価	今後も質の高い活動が維持できるよう、研修を実施すること。市民社協職員の研修は、計画に基づき実行すること。							
②	指標名	会費収入			目標値	500万円	実績値	428万円
	過去の実績	平成18年度	平成19年度	平成20年度	達成率	85.6%	達成状況	未実施・未達成・達成
	(単位:)	4,628	4,701	4,330				
	取組内容	※21年度中の目標達成のための具体的な取組内容等について記入してください。 ①会員増強月間(7月)中に七夕のつどいを開催し、会員増強のPRを行った。 ②新規入会者分の会費相当額(13地域社協 150,000円)を地域に還元した。 ③地域社協の総会や運営委員会、また、ボランティアセンターが行う講座など多くの市民が集まる場では入会への誘いを行った。目に見える成果はなかったが、市民社協のPRにつながったと思われ、今後の入会への期待が生まれた。 ④毎月発行の市民社協だより「ふれあい」を通じて、原則毎回入会案内の欄を設けて勧誘を行った。 ⑤21年度より普及宣伝誌「市民社協だより」にて入会を募った。 ⑥第2次会員増強計画を実施している。						
一次評価	※目標の達成状況・要因・今後の取組方針等について記入してください。 (会員の増減) 個人会員 2.7%減 団体会員 3.4%減 特別賛助会員 8.1%減 全体 2.6%減 (会費収入) 個人・団体・特別賛助会員いずれも減少傾向にあり、全体では1%(約40,000円)減少した。 (今後の取組) ・賛助会員の拡大は困難なので、団体会員と個人会員の拡大に努めていく。 ・会員になったことのメリットをつくり、「市民社協だより」「ふれあい」でPRしていく。							
二次評価	会員がいずれも減少している厳しい状況は理解するが、なぜ会員が減るのかというその根本的な理由についての検証が必要である。							
③	指標名	人事考課制度			目標値	平成22年度導入	実績値	制度を導入している社会福祉協議会から一部聞き取り調査を行った
	過去の実績	平成18年度	平成19年度	平成20年度	達成率	0.0%	達成状況	未実施・未達成・達成
	(単位:)			資料等収集				
	取組内容	※21年度中の目標達成のための具体的な取組内容等について記入してください。 他社協等へ一部ヒアリングを実施したが、メインの業務である住民の話を聴くニーズ把握やコーディネーター機能など、数値で表せない業務を行っているという市民社協特有の状況についても勘案が必要であり、情報不足と困難さがあり、制度の立ち上げには至っていない。						
一次評価	※目標の達成状況・要因・今後の取組方針等について記入してください。 平成22年度の導入を目的として検討したが、市民社協らしい人事管理制度をどのようにするか検討中である。今後は、職員の意欲向上等人材育成的な観点に重点を置き、目標管理制度として整備を進める。							
二次評価	これまで「業績評価制度」「人事考課制度」を設定してきて、いずれも未達成で、22年度目標には「目標管理制度」を設定しているが、市民社協にとって、有効な人事施策は何なのか、どんなものが最適なのか、実現可能性も含めてよく精査し早急に取り組む必要がある。							